

令和6年度 厚木市市民協働提案事業

NPO法人多言語広場CELULAS

活動報告書



NPO法人 多言語広場 CELULAS
セルラス

事業目的

厚木市の子どもたちが留学生在住外国人との交流を通して、多言語多文化を楽しみ、言語や文化の違いを超えてコミュニケーションする機会を設けることで、多様性を認めあい国際社会を豊かに生きていく力を養う。

市民の中にも多様な背景を持つ人たちがいることを知り、外国に繋がりのある親子との交流を通して多様であることの豊かさを体験する。その体験を通して、他者への信頼と違いを受入れ心を開いて社会で生き抜く力を養い、豊かでどんな人にも優しい地域を作る。

成果

1. 出前国際理解授業

日本と違う国の文化やことばに直接触れることで、カンボジアとチリを身近に感じることができた。子供たちは様々な違いを興味をもって楽しむことができた。子どもたちの中に「違いは楽しい」「違いがあっても仲良くなれる」という自信がついた。

2. 親子で遊ぼう！台湾のおやつとお正月

食文化は市民のみなさんが興味を持ってくれた。
一緒に作り食べることで参加者の交流も深まった。
厚木市に在住する方から母国文化やことばを紹介してもらい楽しむことができた。多様性を楽しむ交流ができた。

厚木市親子多言語多文化交流事業

1. 収入の部

	項目	決算
A	市負担金	130,000
B	参加費	8,000
B	協賛金	0
C	団体負担金	8,566
	収入合計	146,566

収支決算

2. 支出の部

費目番号	項目	摘要	決算
A	印刷製本費	チラシ・ポスター印刷	67,750
B	消耗品費	消耗品等	47,236
C	通信費	通信料・郵送料	180
D	人件費	スタッフ謝金	15,000
E	報償費	在住外国人講師謝金	15,000
F	使用料・賃借料費	会場使用料・賃借料	1,400
	支出合計		146,566

3. 差引残高

収入合計 146,566円

決算合計 146,566円

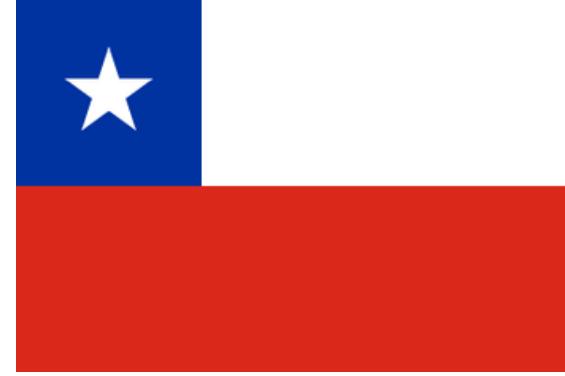
差引残額 0円

小鮎小学校出前国際理解授業

10月17日（木）3時間目・4時間目



カンボジア



チリ

★在校生児童のカンボジアのお母さんチャンティさん

★チリ人留学生ミシさんとの交流

それぞれの国の文化、ことば、食べ物、歌やダンスを教えてもらった

対象：1年生 2クラス



子供たちの様子や感想

どのアクティビティも1年生は楽しそうに反応し、クメール語やスペイン語のあいさつなどもすぐに口に出していた。チャンティさんの長男が休み時間にお母さんの所に来て「ママありがとう。ママ大好き」と話す様子に感動した。また、授業の後自分自身を「僕カンボジア人だよ」とクラスメートに話していた。

学校の感想

『授業』であるなら子どもに静かにさせてから話す、わかりやすい言葉を使う、写真などは指さして見せるなど、もっと子どもたちが集中する工夫が必要との指摘があった。準備不足もあったので、1週間前にはパワポなど提出したほうが良いとアドバイスもあった。

2. 親子で遊ぼう!台湾のおやつとお正月



【応募と参加者数】

- ・応募総数 37人 (15家族)
- ・当選者数 25人 (10家族)
- ・参加者数 16人 (7家族)
(内訳大人8人 子ども8人)



二月



2025年1月19日 (日) 13:30~16:00

アミューあつぎ6階クッキングスタジオ・ルーム610

《プログラム》

- 開会式
- 講師紹介
- 台湾のおやつ作り
- 台湾紹介
- 台湾の遊びを体験
- 閉会式

《講師》

台湾出身で厚木在住の徐勝梅さん
現在、厚木市の小学校で外国籍の
子供たちの学習支援をされている



おやつ作りの様子 仙草ゼリーと台湾茶（烏龍茶）



台湾紹介の様子 台湾クイズ、台湾のお正月や食べ物について



遊び体験の様子

扯鈴 台湾のコマ ジェンズ（毽子）



剪紙



輪投げ

《参加者の感想》

- ・台湾の言葉がとても新鮮だった。
- ・クイズ方式で楽しく台湾の事を知ることができた。
- ・台湾のおやつも初めて食べましたがおいしかった。
- ・遊びコーナーでは初めての遊びを体験できた。
- ・台湾を身近に感じ行ってみたくなつた。
- ・子ども達がとても楽しんでいた。
- ・大人も楽しめる内容だった。